

**第42回全国高等学校柔道選手権大会新潟大会
兼 第42回新潟県高等学校柔道選手権大会
実施要項**

- 1 主催 新潟県柔道連盟
- 2 共催 新潟県高等学校体育連盟 UX新潟テレビ21
- 3 後援 朝日新聞新潟総局 スポーツニッポン新聞新潟支局
日刊スポーツ新聞社新潟 新潟地区柔道連盟
- 4 主管 新潟県高等学校体育連盟柔道専門部
- 5 主管校 新潟県立新潟高等学校
- 6 期日 令和2(2020)年1月18日(土)・19日(日)
- 7 会場 新潟市鳥屋野総合体育館
新潟市中央区神道寺南2丁目3番46号 Tel 025-241-4600
- 8 日程
- | | | | |
|--|--------|-------------|-----------------|
| | 18日(土) | 7:30 | 開館 |
| | | 8:20～9:20 | 公式計量(女子団体・男女個人) |
| | | 9:00～9:30 | 受付 |
| | | 9:40～ | 審判監督会議 |
| | | 10:30～ | 開会式 |
| | | 11:00～17:00 | 男女団体試合 |
| | 19日(日) | 7:00 | 開館 |
| | | 7:30～8:15 | 公式計量(男女個人) |
| | | 8:30～8:50 | 審判監督会議 |
| | | 9:00～14:50 | 男女個人試合 |
| | | 15:00～ | 閉会式 |
- 9 競技種目 (1) 男子団体 (2) 女子団体 (3) 男子個人 (4) 女子個人
- 10 競技規定
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020)による。◎IJF新ルール適用(平成30年4月1日全柔連発効による)及び全国高体連柔道専門部(平成30年4月)・新潟県高体連柔道専門部の試合実施の申し合わせ規定
- (2) 審判員
審判は、主審1人、副審2人の3審制で行い、審判委員(ジュリー/各試合場に1人または2人)を配置する。
- (3) 試合時間
ア〈男女団体試合〉3分(ただし、決勝は4分)
イ〈男女個人試合〉3分(ただし、準決勝・決勝は4分)
- (4) 団体試合における優勢勝ちの勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。
ア「技有」:「技有」が2つでも「一本」と同等とする。(「合わせ技一本」)
イ「僅差」:試合両者に技による評価(技有)が無い場合または同等の場合に「指導」差が2の場合に、指導の無い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
1差であれば「引き分け」とする。
ウ 代表戦の勝敗の判定基準は、次のとおりとする。
①〈男子団体〉優勢勝ちの判定基準は「一本」、「技有」、「僅差」とする。ただし、定められた試合時間の終了時に、試合両者に技の評価(スコア)が無い場合、もしくは

はスコアが同等の場合は、「指導」差が同等もしくは1の場合は、その試合は時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。

・延長戦中に、技による評価（スコア）が与えられた時点で、その試合は終了する。ただし、抑え込みにおいては、「一本（20秒）」または「合わせ技となる場合の技有（10秒）」までの評価を行う。

・延長戦中において、「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合は、その試合は終了する。

②〈女子団体〉優勢勝ちの判定基準は「技有」または「指導1」以上とする。

※すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式の試合を行う。

(5) 個人試合における優勢勝ちの勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。

ア「技有」：「技有」が2つでも「一本」と同等とする。（「合わせ技一本」）

イ「僅差」：試合両者に技による評価（技有）が無い場合または同等の場合に「指導」差が2の場合に、指導の無い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

ウ「指導」差が同等もしくは1の場合であれば延長戦（ゴールデンスコア方式）で必ず勝敗を決定する。

(6) 「両者同時反則負け（累積）」：「男子団体試合の代表戦」及び「個人試合」において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦により必ず勝敗を決する。

※直接的反則による「両者同時反則負け」における勝敗の決定及び選手選考などについては、別途審議する。

(7) その他、競技規定の詳細については、大会審判会議資料・申し合わせ事項に基づいて行う。

11 競技方法 (1) 団体試合

ア 男子団体

① トーナメント法で行う。

② 各チーム間の試合は「勝ち抜き戦」とする。

③ 試合は各チーム5名で行い、試合毎のオーダー提出を行い順番の変更を認める。

イ 女子団体

① トーナメント法で行う。

② 各チーム間の試合は「体重別点取り試合」とする。

③ 試合は各チーム3名で行う。※試合毎のオーダー順の変更は行わない。

ウ〈男子・女子団体の代表戦〉試合方法は、次のとおりとする。

①〈男子〉大将同士が引き分けの場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

定められた試合終了時に「得点差がない場合」または「指導差が無い」「指導差1」の場合は、時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦で勝敗を決する。

②〈女子〉・「引き分け対戦」の中から抽選で選び、すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式で試合を行う。

・「引き分け対戦がない場合」は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式で試合を行う。※抽選で、「直接的反則負け」で決着した試合を選んだ場合のみ、試合を行わず、その終了した試合結果をもって勝敗を決着する。

- (2) 個人試合
 - ア 男女とも体重別試合とする。
 - イ 3位決定戦は行わない。
- (3) 大会運営の関係によって、試合時間等の変更が有り得る。(大会準備会議で決定する)

- 12 表彰
- (1) 団体試合
 - ア 優勝チームには優勝杯を贈る。(次回大会返還)
 - イ 3位までの入賞校に賞状を贈る。
 - (2) 個人試合 3位までの入賞選手に賞状を贈る。

- 13 上位大会
出場資格
- 男女団体優勝校及び各階級個人優勝者は第42回全国高等学校柔道選手権大会(ALOK ぐんまアリーナ/群馬県)の出場権を得る。

- 14 参加資格
- (1) この開催基準要項でいう高等学校には、新潟県高等学校体育連盟に加盟する中等教育学校後期課程を含む。
 - (2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - (3) 選手は、新潟県高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍する生徒であり、全日本柔道連盟に選手登録してあること。
 - (4) 選手は、各高等学校の教育計画に基づいて行う課外活動に位置づけられた運動部(当該種目)の部員であること。
 - (5) 上記(3)に該当しない生徒を選手として参加させる場合は、大会主催者の承認を必要とする。
 - (6) 選手は、今年度の4月2日を起算とし、19歳未満の者とする。ただし出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(高校1、2年生の学年とする。)
 - (7) チーム編成
 - ア チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - イ 特例として、全日制課程が定時制課程に改組された場合は、改組後2年間に限り混成を認める。
 - (8) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (9) 転校後6ヶ月未満の者は出場することができない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、大会主催者の許可があればこの限りではない。
 - (10) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、また在学する学校の校長の承認を必要とする。
 - (11) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと大会主催者が認める生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(6)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。
 - (12) 上記(1)から(11)の他、上位大会実施要項に準じ専門部で定める。
 - (13) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

- ア 大会前一ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (14) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、新潟県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校に一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 新潟県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

15 参加制限 (1) 団体試合(男女とも地区推薦による)

ア 男子の部

- ① 1校1チームとし、監督1名、選手6名の計7名とする。
- ② 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

イ 女子の部

- ① 1校1チームとし、監督1名、選手3名、補欠2名の計6名とする。
ただし、補欠は2名に満たなくても良い。
- ② 体重区分は以下のとおりとする。
〈先鋒〉：52kg以下、〈中堅〉：63kg以下、〈大将〉：無差別
体重の軽い者は重い階級に出場できる。また、補欠は該当する階級に出場できる。
補欠選手を補充する際の順番は問わない。ただし、補充による順位の移動はできない。
- ③ 計量に合格できない者は出場できない。
- ④ 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

(2) 個人試合(男女とも地区推薦による)

- ア 計量に合格できない者は出場できない。

- イ 男子の体重区分（5階級）
- ① 無差別 体重制限なし
 - ② 81kg級 73kgを超え81kg以下の者
 - ③ 73kg級 66kgを超え73kg以下の者
 - ④ 66kg級 60kgを超え66kg以下の者
 - ⑤ 60kg級 60kg以下の者
- ウ 女子の体重区分（5階級）
- ① 無差別 体重制限なし
 - ② 63kg級 57kgを超え63kg以下の者
 - ③ 57kg級 52kgを超え57kg以下の者
 - ④ 52kg級 48kgを超え52kg以下の者
 - ⑤ 48kg級 48kg以下の者

《全国高校選手権大会における「女子団体試合の階級配置」と「女子個人試合の出場階級」について》

団体先鋒登録選手：個人戦48kg・52kg・無差別に出場できる。

団体中堅登録選手：個人戦48kg・52kg・57kg・63kg・無差別に出場できる。

- 16 参加申込 (1) 所定の用紙に記入し、下記に申し込むこと。

〈公式申込〉(2) 申込先

〒951-8127 新潟市中央区下川原町2-635 新潟県立新潟高等学校 内

第42回新潟県高等学校柔道選手権大会実行委員会 担当 吉田 理矢子

〈学校代表〉TEL025-266-2131 FAX025-267-7795

〈体育科直通〉TEL025-266-2132

E-mail// yoshida.riyako@nein.ed.jp

- (3) 申込締切 〈公式申込〉〈申込データ〉ともに 令和元年11月29日(金)必着

- 17 選手データ **※前年度より導入。必ず「参加選手のデータ」の事前送付をお願いします。**

のメール送付 所定の申込フォームを、県柔連HPからダウンロードし、

E-mailで「申込データ（団体・個人出場選手名等）」のデータを送付願います。

データ送付先は、上記申込先（E-mail）です。

◎ファイル名には必ず「〇〇高校2019選手権」と名前をつけてください。

◎詳細は、別記「参加選手のデータ送付について」を参照してください。

- 18 参加料 (1) 男子団体 10,000円 女子団体 6,000円

(2) 個人試合 1人 1,500円（障害保険料100円含）

- 19 組合せ抽選 令和元年12月5日(木) 9:30~17:00 新潟高校 セミナーハウス

※組合せ抽選は、新潟県高体連柔道専門部によって抽選を行う。

- 20 審判監督会議 令和2年1月18日(土) 9:40~ 鳥屋野総合体育館 研修室

19日(日) 8:30~ 鳥屋野総合体育館 研修室

- 21 選手変更 団体試合申込後に選手が何らかの理由により出場できない場合、男子団体戦は3名の選手変更を認める。女子団体試合は補欠選手を入れてからの2名の選手変更を認める。

1月18日(土)の受付時間終了(9:30)までに大会事務局(受付・選手変更係)に届けなければならない。

- 22 計 量 女子団体・男女個人
- 1月18日(土) 公式計量 8:20~9:20 (女子団体・男女個人)
- 19日(日) 公式計量 7:30~8:15 (男女個人)
- ア 公式計量時間内に何回計量してもよい。
- イ 「個人戦公式計量」は18日(土)または19日(日)のどちらかとする。
公式計量前に自分の体重を確認しておくこと。
- ウ 計量に合格できない者は出場できない。
- エ 無差別級も、参加確認を兼ねているため計量を行う。

- 23 その他
- (1) 前回優勝校は優勝杯を持参すること。
 - (2) 監督、コーチは各学校長が認める職員とし、それが外部指導者の場合は、障害・賠償責任保険(スポーツ安全保険)等に必ず加入することを条件とする。
 - (3) 大会期間中の宿泊は各校で手配すること。
 - (4) 大雪等の悪天候やインフルエンザの流行によって、大会の延期や中止などの判断は専門委員会によって行う。

別記「参加選手のデータ送付について」

- (1) **所定の申込フォーム**を、県柔連HPからダウンロードし、参加に必要なデータ(選手名など)を入力してください。
↓
- (2) **ファイル名には必ず「〇〇高校 2019 選手権」と名前をつけてください。**
↓
- (3) 〈メール申込先〉 E-mail// yoshida.riyako@nein.ed.jp
↓
- (4) 〈申込締切〉「公式申込(申込用紙)」「申込データ(メール)」ともに
令和元年11月29日(金)必着です。
- (5) 申込み締切後の個人試合のエントリー階級の変更は、原則認めません。
理由がある場合は、委員長に報告した後、抽選会当日に検討し決定します。

- 〈注意〉①男子については、「団体」・「個人」ともに出場の有無・選手名(参加申込選手名)等を入力してください。
- ②女子については、「団体」の出場の有無と「個人」に出場する選手名を入力してください。
- ただし、メール申込みにおける個人試合の出場階級の入力については、その有無は別とし記載が無くても良しとします。(「公式申込み」には必ず記入すること。)